

矢作ダム再生事業 報告資料

令和 2年 7月27日

国土交通省中部地方整備局
豊橋河川事務所

目 次

1. はじめに	P 1
2. 費用対効果分析	P 2
3. 県への意見聴取結果	P 3
4. 対応方針（案）	P 3
5. 流域委員会開催概要	P 4

1. はじめに

今回、事業再評価を実施する理由

■ 事業採択後一定期間が経過した時点で未着工の事業であることから、事業再評価を実施する

- 「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」の第3 1 (1) 「事業採択後一定期間が経過した時点で未着工の事業」に該当

流域委員会と事業評価監視委員会との関係について

■ 河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議するものとする

- 「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」第6の6
6月23日流域委員会における審議の結果

2. 費用対効果分析

- 事業全体に要する総費用(C)は約272億円であり、事業の実施による総便益(B)は約604億円となる。
これをもとに算出される費用便益比(B/C)は約2.2となる。(前回評価 B/C 約2.8)
- 令和3年度以降の残事業費に要する総費用(C)は約266億円であり、この事業の実施によりもたらされる総便益(B)は約604億円となる。これをもとに算出される費用便益比(B/C)は約2.3となる。

■費用対効果分析

■感度分析

	前回評価 (平成29年度)	今回評価		前回評価との 主な変更点
	全体事業	全体事業	残事業	
B/C	2.8	2.2	2.3	
総便益B	679億円	604億円	604億円	・基準年の変更 ・資産評価額の変更 ・治水経済調査マニュアル(案)の変更
便益(洪水調節)	670億円	594億円	594億円	
一般資産被害	238億円	301億円	301億円	
農作物被害	0億円	0億円	0億円	
公共土木施設被害	403億円	226億円	226億円	
営業停止被害	17億円	39億円	39億円	
応急対策費用	12億円	28億円	28億円	
残存価値	9億円	10億円	10億円	
総費用C	245億円	272億円	266億円	・基準年の変更
建設費	240億円	267億円	261億円	
維持管理費	4億円	5億円	5億円	

	全体事業(B/C)	残事業(B/C)
残事業費 (+10%~-10%)	2.0 ~ 2.5	2.1 ~ 2.5
残工期 (+10%~-10%)	2.2 ~ 2.3	2.2 ~ 2.3
資産 (-10%~+10%)	2.0 ~ 2.4	2.0 ~ 2.5

○評価基準年次: 令和2年度(前回評価基準年: 平成29年度)

○総便益(B): ・便益(洪水調節)については、評価時点を現在価値化の基準点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして、年平均被害軽減期待額を割引率を用いて現在価値化したものの総和
・残存価値: 将来において施設が有している価値

○総費用(C): ・評価時点を現在価値化の基準点とし、治水施設の整備期間と治水施設の完成から50年間までを評価対象期間にして、建設費と維持管理費を割引率を用いて現在価値化したものの総和

- ・建設費: 矢作ダム増設放流設備完成に要する費用(残事業は、令和3年度以降)
※実施済の建設費は、実績費用を計上
- ・維持管理費: 矢作ダム増設放流設備の維持管理に要する費用

○割引率: 「社会資本整備に係る費用対効果分析に関する統一的運用指針」により、4.0%とする。

3. 県への意見聴取結果

愛知県への意見聴取結果は、下記のとおり。

- 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
なお、事業の推進あたっては、以下の通り要望します。
 - ・引き続き、ダム再生事業を着実に推進されるようお願いします。
 - ・事業実施にあたっては、コスト削減の徹底など、より効率的な事業推進に努められるようお願いします。
 - ・矢作ダム再生事業と併せて策定した矢作川上流圏域河川整備計画（手続中）に基づき矢作ダム下流県管理区間の河道整備を推進するため、事業費の確保等への支援をお願いします。

4. 対応方針（案）

- 事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されていることから、事業を継続することが妥当である。

5. 第2回 矢作川水系流域委員会における審議

■ 矢作ダム再生事業の事業再評価について、「第2回 矢作川水系流域委員会」において審議いただき、事業継続とする対応方針（原案）を了承されました。委員からいただいた主なご意見は、以下のとおりです。

【開催日】 令和2年6月23日（火）

【開催場所】 WEB会議

【開催内容】

○矢作川水系河川整備計画の進捗状況

○矢作ダム再生事業の再評価



主な意見

○対応方針（原案）を了承する。

○県管理区間の河道の整備状況等についても、流域委員会で情報提供・共有されるのが望ましい。